

## プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年1月17日

号機

5

件名

非常用ディーゼル発電機の不具合について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2024年1月16日午後4時45分頃、5号機原子炉建屋付属棟1階、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室（非管理区域）にて、非常用ディーゼル発電機の定例試験後の現場確認中に、当社社員が燃料配管の継ぎ手部分から油（約0.8L）が漏れていることを確認しました。そのため、燃料配管への燃料の供給を停止し、漏えいが止まったことを確認しております。

その後、公設消防へ連絡しました。

なお、漏れた油は堰にとどまっており、油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。

## 【対応状況】

今後、油が漏れた原因を調査し、再発防止対策を講じてまいります。

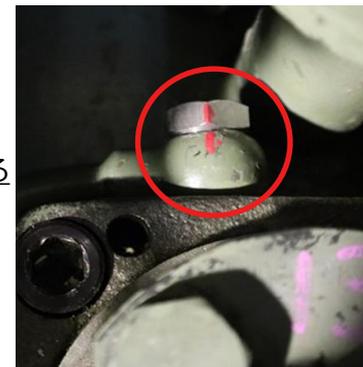
（2024年1月17日にお知らせ済み）

## 【原因】

・原因調査をした結果、当該箇所のボルトに緩みがあることを確認し、また、ボルトを締結した後、緩みを確認するために書き入れたマークが見えづらい状況にありました。  
分解した結果、傷や劣化などが無いことを確認したことから、非常用ディーゼル発電機の運転による振動の影響により、徐々にボルトが緩み、漏えいに至ったものと推定しました。

## 【対策】

・当該箇所のボルトの締結を行い、緩みを確認できるよう新たにマークを書き入れました。  
・当該箇所及び類似箇所については、定期的にマークの位置ずれを確認し、ボルトの締結管理を行います。  
また、マークの見えづらい箇所が確認された場合は、都度、締結状態を確認したうえでマークを書き入れることとしました。



<マークの書き入れ>

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2024年1月22日

号機

—

件名

発電所屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2024年1月20日午後2時15分頃、発電所構内の屋外エリアにおいて、クレーンで運搬中の鉄筋架台を、現場に引き寄せる作業をしていた協力企業作業員が、移動中に開口部で転倒し、右脇腹を打ちました。その際、痛みがあったことから、開口部から下のエリアに降りたところ、足を捻り負傷しました。

## 【対応状況】

病院で診察の結果、「左脛骨顆間隆起骨折」（通院加療、全治2か月）と診断されました。  
今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2024年1月22日にお知らせ済み）

②

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

---

号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日
号機	6	件名	中央制御室換気空調系給気エアフィルタ破損について（区分：Ⅲ）	発生日	2023年8月8日
号機	5	件名	原子炉建屋（管理区域）における水の漏えいについて（区分：Ⅲ）	発生日	2023年11月21日

## 不適合情報

2024年1月12日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 18件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋(管理区域)南西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/09	
2	3号機	低起動変圧器(屋外)の地下タンク水位が、通常より高いことを確認した。調査の結果、水位検出スイッチの動作不良により排水ポンプが動作していなかったものと推定。手動操作にて排水ポンプを運転し排水を実施。当該事象の原因を調査し修理。	2023/12/28	
3	3号機	タービン建屋～海水熱交換器建屋間(非管理区域)A系ダクト入口扉前伸縮継手付近の補修シール部に、雨水の滴下を確認した。滴下水は床排水口に流入。当該箇所を点検・修理。	2023/12/29	
4	3号機	タービン建屋(管理区域)北東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/02	
5	3号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/02	
6	4号機	中央制御室において、局部出力モニタ(B系)表示画面に、電源装置異常の警報の発生を確認した。調査の結果、出力電圧が0.0Vであったことから装置の故障と推定。当該電源装置を点検・修理。	2023/12/29	
7	4号機	タービン建屋～海水熱交換器建屋間連絡通路(非管理区域)壁面に、地下水の滲み出しを確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2024/01/04	
8	4号機	原子炉建屋(管理区域)北東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/05	
9	4号機	原子炉建屋付属棟(管理区域)北西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/05	
10	5号機	タービン建屋(管理区域)西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/12/29	
11	5号機	海水熱交換器建屋(非管理区域)北西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/04	
12	5号機	タービン建屋(管理区域)西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/07	
13	6号機	タービン建屋地下2階(管理区域)低圧ドレンポンプ室南東側壁面に、地下水の滲み出し跡および析出物、側溝の水溜まり(約400cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該所を点検・修理。	2023/12/26	
14	6号機	地震発生後のパトロールにおいて、タービン建屋1階(非管理区域)発電機固定子冷却水系エリアの壁面の一部に損傷を確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/01/01	
15	6号機	廃棄物処理建屋(管理区域)南東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。電球交換後に点灯確認を行ったところ、バッテリー供給では点灯しないことを確認した。当該誘導灯器具を交換。	2024/01/09	
16	7号機	タービン建屋1階(非管理区域)南側点検エリアの常用/非常用照明分電盤の漏電遮断器が作動し電源が停止していることを確認した。調査の結果、絶縁抵抗値が低下していることを確認。当該事象の原因を調査し修理。なお、他回路の照明が点灯しているため、当該エリアの照度に問題なし。	2023/12/28	
17	7号機	タービン建屋1階(非管理区域)南側点検エリアの常用照明分電盤の漏電遮断器が作動し電源が停止していることを確認した。調査の結果、絶縁抵抗値が低下していることを確認。当該事象の原因を調査し修理。なお、他回路の照明が点灯しているため、当該エリアの照度に問題なし。	2023/12/28	

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備 考
18	その他	気象観測設備(屋外)点検において、放射収支計測定部に雪や水滴等が付着することを防ぐドームのブロワに、異音の発生を確認した。当該ブロワを停止し交換。なお、放射収支計の測定には影響なし。	2023/12/27	

## 不適合情報

2024年1月15日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	500kV開閉所排水設備(南側)故障の警報が発生／クリアを繰り返していることを確認した。調査の結果、排水ポンプ(CP-2)のポンプ不具合による排水不良、ポンプ起動／停止用スイッチの動作不良、逆止弁の動作不良が原因と推定。当該事象の原因を調査し、排水ポンプ、逆止弁を点検・修理。	2024/01/01	
2	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器(A)の水抜きにおいて、貝殻除去装置ブロー切替後弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2024/01/09	
3	3号機	制御棒駆動機構ポンプ(B)油分離器に腐食を確認した。当該分離器を点検・修理。	2024/01/08	
4	6号機	取水路角落し収納ピット(屋外)排水ポンプ制御盤に過負荷／高水位を示すランプの点灯を確認した。調査の結果、排水ポンプが運転中にもかかわらず吐出配管から排水されていないことが判明。排水ポンプの運転を停止。水位検出スイッチおよび排水ポンプを点検・修理。	2024/01/01	
5	6号機	残留熱除去系(B)経由外部注水入口弁が、エリア放射線モニタ(CH. 14)検出器の測定視野に一部干渉していることを確認した。入口弁または放射線モニタの移設について検討し改修工事を実施。なお、測定エリアに複数のモニタを設置していることおよびプラント停止中で放射線量が上昇する可能性が低いことから、監視に影響なし。	2024/01/05	
6	7号機	プラント計測機器点検において、炉水フィルタサンプル流量計の指示値が管理値を逸脱していることを確認した。当該流量計を交換。	2024/01/07	

## 不適合情報

2024年1月16日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。  
[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 11件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)西側通路壁面の配管貫通部から地下水が滲み出し、床面に水溜まり(約200cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2024/01/10	
2	3号機	取水口除塵装置洗浄ポンプ渦巻ストレーナー(B)の吐出圧力が低いことを確認した。調査の結果、当該圧力計の指示不良と推定。当該圧力計を点検・修理。	2024/01/07	
3	3号機	原子炉建屋(管理区域)北西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/12	
4	5号機	放射性廃棄物処理設備制御室において、液位記録計制御盤に異常を示す警報が発生したことを確認した。調査の結果、基板の不具合と推定。当該基板を交換。なお当該記録計は制御卓にて確認可能なため、監視に影響なし。	2024/01/08	
5	5号機	タービン建屋1階(管理区域)～圧力抑制室プール水排水系サージタンク室間通路(管理区域)天井シール部にひびが発生し、雨水(汚染なし)が浸入していることを確認した。受けパン設置済み。当該箇所を点検・修理。	2023/12/21	
6	6号機	コントロール建屋(非管理区域)地下2階換気空調補機非常用冷却水系(A)(C)室の北東側壁面に、水の滲み出し(約250cc)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2024/01/10	
7	6号機	原子炉建屋貫通孔調査完了後に残留熱除去系(A)弁室のコンセントボックス内にケーブルを収納した際、異音の発生を確認した。ケーブルを引き出して確認したところ、接地線が断線していることを確認。調査の結果、同一コンセントボックス内のケーブル(活線状態)ジョイントと接地線が接触し断線したものと推定。活線状態のケーブルの電源を遮断し、原因を調査。	2024/01/12	
8	7号機	原子炉建屋(管理区域)北西側階段室(4階上部)に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。電球交換後に点灯確認を行ったところ、バッテリー供給では点灯しないことを確認した。当該誘導灯器具を交換。	2024/01/12	
9	7号機	原子炉建屋(管理区域)北西側階段室(4階下部)に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。電球交換後に点灯確認を行ったところ、バッテリー供給では点灯しないことを確認した。当該誘導灯器具を交換。	2024/01/12	
10	その他	防護本部出入管理所プラント内放送設備(拡声装置)の音量不良およびスピーカーの指向不良により放送内容が聞き取りづらいことを確認した。放送設備の音量調整およびスピーカーの設置位置を変更。	2023/12/10	
11	その他	可搬型窒素供給装置(3号車)の点検において、窒素ガス発生装置制御盤に通信異常警報が発生していることを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2024/01/12	

## 不適合情報

2024年1月18日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 14件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	地震発生後のパトロールにおいて、タービン建屋地下1階(管理区域)北西コーナー壁面に、地下水(汚染なし)の滲み出しを確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2024/01/01	
2	3号機	換気空調設備点検において、換気空調補機常用冷却水系冷凍機(D)バイパス弁と弁駆動モーターの接続継手連結ピン(2本の内1本)が折損していることを確認した。当該ピンを交換。	2023/12/15	
3	3号機	計装用圧縮空気系計器点検において、空気貯槽圧力計器元弁にシートバスを確認した。当該元弁を交換。	2023/12/15	
4	3号機	当直長机指令台の緊急電話が、使用中に時折音声が途切れることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。現状、通話は可能なため機能に影響なし。	2024/01/02	
5	4号機	中央制御室において、計算機故障の警報の発生を確認した。調査の結果、プラント監視サーバー(B)の中央演算装置停止と推定。当該事象の原因を調査し修理。なお、A系に問題はなく、プラントの監視に影響なし。	2024/01/13	
6	5号機	原子炉仮閉鎖のウェル排水作業において、ベローズドレン・バルクヘッドドレンに配管詰まりを確認した。当該配管を点検・清掃。	2023/12/18	
7	6号機	原子炉建屋地下1階(管理区域)北西階段室壁面への穴開け作業において、埋設電線管および収納ケーブルを損傷させたことを確認した。調査の結果、損傷したケーブルは照明用と判明。当該照明灯の電源を停止。当該電線管およびケーブルを修理。	2023/12/26	
8	6号機	タービン建屋低電導度廃液系排水槽(A)のポンプ(C)軸受け部およびケーシング内に、水溜まりを確認した。調査の結果、軸受封水配管の詰まりによる滲み出しと推定。当該ポンプの運転を停止。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2023/12/27	
9	6号機	地震発生後のパトロールにおいて、タービン建屋地下1階(管理区域)気体廃棄物処理系再結合器室前の壁面にひび割れを確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/01/01	
10	6号機	地震発生後のパトロールにおいて、廃棄物処理建屋3階(管理区域)廃棄物処理建屋排風機室エリアの扉枠部材に損傷および壁面にひび割れを確認した。当該箇所を点検・修理。なお、扉の開閉に問題なし。	2024/01/01	
11	6号機	地震発生後のパトロールにおいて、サービス建屋(非管理区域)西側エレベータが停止していたが、中央制御室の防災監視盤に警報が発生していないことを確認した。当該エレベーターの使用を禁止。調査の結果、信号伝送系の通信不良と推定。当該事象の原因を調査し修理。	2024/01/02	
12	6号機	タービン建屋(管理区域)北東側階段室に、誘導灯(5箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/12	
13	7号機	非常用ディーゼル発電機(C)点検において、排気ガス温度検出器ケーブル収納管被覆の一部に損傷を確認した。発電機運転時に高温部に接触し被覆が溶けたものと推定。当該収納管を修理。	2023/12/26	
14	その他	地震発生後のパトロールにおいて、使用済燃料輸送容器保管庫(管理区域)床面に、塗装の剥がれおよびひび割れを確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/01/09	

## 不適合情報

2024年1月19日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

## 1. G I グレード 0件

## 2. G II グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	3号機	中央制御室(B)系隔離弁点検後の復旧において、隔離弁4台の小容量電源盤の電源復旧を実施した際に、1台の弁開閉表示灯が点灯しないことを確認した。調査の結果、当該弁の弁駆動用電源ケーブルが未接続であったにもかかわらず、当社監理員がすべて接続完了と誤認し、弁電源の復旧を依頼したことが判明。未接続だったケーブルに損傷がないことを確認し接続・復旧済。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を検討・徹底。	2024/01/15	—
2	5号機	高圧炉心スプレー系非常用ディーゼル発電機定例試験後の現場確認中に、当社社員が燃料配管継手部分から油(約0.8リットル)が漏れていることを確認した。燃料配管への燃料供給を停止し、漏えいが止まったことを確認するとともに公設消防へ連絡。なお、漏れた油は堰内にとどまっており、油の外部等への流出はなく、環境への影響なし。当該事象の原因を調査し修理。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態にあるため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。 【2024年1月17日公表済み】 URL: <a href="https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20240117p.pdf">https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20240117p.pdf</a>	2024/01/16	G II

## 3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)相分離母線冷却装置エリア南側壁面に、地下水と思われるしみ出しおよび水溜まり(約320cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2023/12/24	
2	3号機	軽油タンク(B)の油面計に指示不良を確認した。当該油面計を点検・修理。なお、1月1日の地震後パトロールでは動作に異常がなかったことを確認済。また、軽油量は検尺により確認できていることから、保安規定の要求については問題なし。	2024/01/02	
3	3号機	サービス建屋地下2階(管理区域)ホットラボ化学計測室出入口付近の机の下で、古いタバコの吸い殻を発見した。当該タバコを回収済。当該事象および管理区域へのタバコの持ち込み禁止を周知。	2024/01/16	
4	4号機	主変圧器ヤード地下タンク(屋外)の水位が高いにもかかわらず、警報の発生および排水ポンプが起動しないことを確認した。手動操作により排水を実施。当該事象の原因調査および水位検出スイッチを点検・清掃。	2024/01/13	
5	4号機	原子炉建屋1階(管理区域)南西二重扉の外側扉が開かないことを確認した。調査の結果、過負荷警報が発生しており、解除できないことを確認した。当該扉の使用を禁止。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、二重扉は両扉(内側・外側)とも閉状態であり、原子炉建屋の負圧機能に影響なし。	2024/01/15	
6	5号機	中央制御室において、新500kV電力ケーブル洞道排水ポンプに異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、No. 2排水ポンプの故障ランプが点灯および過電流継電器が動作していることが判明。当該ポンプを点検・修理。なお、No. 1ポンプは正常であり、排水機能に影響なし。	2024/01/14	
7	7号機	可燃性ガス濃度制御系室連絡弁(B)が、開閉表示灯が全閉表示にもかかわらず微開していることを確認した。可燃性ガス濃度制御系室搬入口扉の開閉を禁止。当該弁を点検・調整。	2024/01/12	
8	その他	大湊側焼却設備廃活性炭タンク液位指示値が、一時的に増減変動していることを確認した。調査の結果、液位検出スイッチに付着した汚れが原因と推定。当該液位計を点検・修理。	2024/01/12	

## 不適合情報

2024年1月22日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	原子炉建屋付属棟(非管理区域)南西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/17	
2	6号機	原子炉建屋(管理区域)北西側階段室(2階下部)に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/17	
3	6号機	原子炉建屋(管理区域)北西側階段室(2階上部)に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/17	
4	6号機	原子炉建屋(管理区域)北西側階段室(地下1階)に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/17	
5	その他	建物設備点検において、新保全部倉庫の搬入扉がレールから外れていることを確認した。当該扉を修理。	2024/01/17	

**不適合情報**

2024年1月23日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。  
[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室において、補機冷却スクリーンに異常を示す警報の発生を確認した。現場を確認したところ、バケツ型スクリーン(B)のボルトが脱落して動力伝達用ピンが1cm程度引き抜けた状態であることが判明。この状態で運転したことによりピンが警報スイッチに接触したものと推定。当該ボルトを固定し復旧済。	2024/01/16	
2	1号機	洗濯廃液系収集タンク(A)から汚染のない水を放水路から系外へ放出する際に、放出流量計の指示値が計器誤差範囲を逸脱していることを確認した。当該流量計を校正および配管を清掃。なお放出流量は各ポンプ吐出流量計にて管理しているため影響無し。	2024/01/18	
3	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)西側通路壁面上部から水が滴下していることを確認した。調査の結果、上階の海水熱交換器建屋(非管理区域)との連絡トレンチに水が溜まっていたことから、トレンチ目地の劣化により雨水・地下水が浸入したものと推定。排水を実施。当該目地部を点検・修理。	2024/01/10	
4	2号機	計装用圧縮空気系空気圧縮機(A)冷却器の冷却水出口弁ハンドルにガタつきと傾きがあることを確認した。調査の結果、弁ハンドルと弁棒接続部の摩耗によるものと推定。当該弁を交換。	2024/01/17	
5	5号機	5号機緊急時対策防災監視盤に、緊急時対策室用可搬型電源の火災報知器動作を確認した。ただちに現場を確認し、炎や煙のないことを確認済。調査の結果、非常用ディーゼル発電機が定例試験運転中であつたため、排気の影響により感知器が動作したものと推定。性能確認において感知器に異常は確認されず、設置箇所、監視範囲とも最適であると判断されたことから、運用面での対応策を検討。	2024/01/12	
6	5号機	濃縮廃液タンク(A)出口ドレン配管点検において、出口ドレン弁を開にしても排水されないことを確認した。調査の結果、ドレン配管の閉塞と推定。当該配管を点検・清掃。	2024/01/16	
7	5号機	雑固体廃棄物焼却設備建屋(管理区域)南西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/17	
8	7号機	第一ガスタービン発電機車共用(A)点検において、排気口に異物の付着を確認した。当該ガスタービン発電機車の使用を禁止。当該事象の原因を調査し、点検・修理。なお、第一ガスタービン発電機車共用(B)に異常がないことを確認済み。	2024/01/17	
9	その他	発電所構内屋外エリアにおいて、クレーンで運搬中の鉄筋架台を現場に引き寄せる作業をしていた協力企業作業員が、移動中に開口部で転倒し右脇腹を鋼材に打ちつけ、痛みがあつたことから開口部下のエリアに降りた際に足を捻り負傷した。業務車にて病院へ搬送し、診察の結果、左脛骨顆間隆起骨折と診断。当該事象を関係者に周知し注意喚起を実施。 【2024年1月22日公表済】 URL: <a href="https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20240122p.pdf">https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20240122p.pdf</a>	2024/01/20	

## 不適合情報

2024年1月24日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	地震発生後のパトロールにおいて、No. 1およびNo. 2純水タンク水位計監視用カメラの破損を確認した。当該カメラを交換。なお、水位計自体に異常はなく、現場での監視は可能なため管理に影響なし。	2024/01/02	
2	1号機	地震発生後のパトロールにおいて、No. 1およびNo. 2ろ過水タンク水位計監視用カメラの破損を確認した。当該カメラを交換。なお、水位計自体に異常はなく、現場での監視は可能なため管理に影響なし。	2024/01/01	
3	4号機	地震発生時にタービン建屋高電導度廃液系排水槽(B)流入量異常の警報が発生し解除できないことを確認した。調査の結果、排水槽への流入はなく水位も問題がないことから、警報回路の不具合と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2024/01/02	
4	4号機	原子炉建屋付属棟2階(非管理区域)南東コーナー東側壁面に、雨水のしみ出しを確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/01/21	
5	5号機	原子炉補機冷却海水系ストレナー(F)の差圧計指示値が、管理値を逸脱していることを確認した。当該差圧計を点検・修理。	2024/01/06	
6	7号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器(A)／(B)出口流量記録計(チャート)のベン駆動部から、異音の発生を確認した。当該記録計を点検・修理。なお、流量はデジタル値で確認可能なため監視に影響なし。	2024/01/18	
7	7号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器出口ストレナー(B)差圧計に、指示固着を確認した。当該圧力計を点検・修理。	2024/01/20	

## 不適合情報

2024年1月25日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(D)点検において、上側シャフトの振れ計測値が管理値を超えていることを確認した。当該シャフトを修理。	2024/01/19	
2	4号機	循環水ポンプ建屋(非管理区域)北側天井から雨水が滴下し、水溜まりがあることを確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2024/01/21	
3	6号機	タービン建屋地下中2階油受けタンク室の二酸化炭素消火設備移設にともなう熱感知器動作確認において、感知器(1箇所)の動作不良を確認した。当該感知器を交換。なお他の感知器に問題はなく、当該エリアの火災監視に影響なし。	2024/01/11	
4	その他	協力企業から発電所構内(屋外)の緊急放送が聞こえないエリアがあるとの改善要望を確認した。調査の結果、当該エリアのスピーカーが故障していることが判明。当該スピーカーを修理。なお、修理完了までは広報車による放送を実施。	2023/11/01	

## 不適合情報

2024年1月29日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 20件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	補助冷却海水系ポンプ(C)吐出圧力指示計内部に、海水と思われる溜水があることを確認した。ポンプの運転を(C)から(A)に切替。当該圧力計を交換。	2024/01/18	
2	1号機	消火系の定例試験において、ポンプを停止した際に系統圧力が低下し圧力調整用消火ポンプ(B)が自動起動したことを確認した。調査の結果、ポンプ(B)吐出逆止弁に流水音があったことから、逆止弁の動作不良と推定。当該弁を点検・修理。	2024/01/19	
3	1号機	コントロール建屋地下2階(管理区域)南西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/21	
4	1号機	コントロール建屋地下5階(管理区域)南西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/21	
5	1号機	点検にともない荒浜側補助建屋低圧電源盤(3C)の受電遮断器を切操作したところ、遮断器が動作しないことを確認した。調査の結果、コントロールスイッチおよび遮断器の動作不良と推定。当該遮断器を点検・修理。	2024/01/22	
6	2号機	原子炉建屋屋上のプラント内放送設備(拡声装置)スピーカーが、架台金具の折損により脱落していることを確認した。当該スピーカー架台を交換。なお、スピーカーの機能に異常なし。	2024/01/23	
7	3号機	サービス建屋地下1階(非管理区域)コールドランドリー洗濯機(D)の給水ラインに水の漏えいおよび水溜まり(約1リットル、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。調査の結果、給水ホースの劣化と推定。他の洗濯機(2台)を含め、当該ホースを交換。	2024/01/12	
8	3号機	高圧炉心スプレィ系非常用ディーゼル発電機空気だめ(手動)第1ドレン弁に、シートパスを確認した。当該弁を点検・修理。なお、第2ドレン弁に異常はなく、空気だめ圧力は保持されているため、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/01/14	
9	4号機	原子炉補機冷却海水系(A)を停止したところ、出口圧力の上昇を確認した。調査の結果、電解鉄イオン注入入口弁(A)のシートパスと推定。当該弁を点検・修理。	2024/01/15	
10	4号機	OF・CV(電力ケーブル)洞道送風機(A)の漏電遮断器点検において、小容量電源盤遮断器レバーの動作が緩慢であることを確認した。調査の結果、経年使用による機構部の潤滑グリス切れと推定。当該機構部を点検・修理。	2024/01/17	
11	5号機	原子炉建屋4階(非管理区域)エレベーター機械室前の煙感知器連動防火ダンパーに、動作不良を確認した。調査の結果、ダンパー起動スイッチの故障と推定。当該ダンパーを交換。なお、当該ダンパーの防火区画においては、火気作業等の規制を実施済。	2024/01/17	
12	5号機	高圧炉心スプレィ系非常用ディーゼル発電機始動回数計に、動作不良を確認した。当該回数計を点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の運転・機能に影響なし。	2024/01/16	
13	5号機	大湊側雑固体廃棄物焼却設備のプロパン気化器出口積算流量計の指針位置と積算指示値に差異があることを確認した。当該積算流量計を点検・修理。	2024/01/22	
14	7号機	電解鉄イオン注入系の原子炉補機冷却海水系(A)熱交換器注入流量計に、指針の固着を確認した。当該流量計を点検・修理。	2024/01/21	
15	7号機	非常用ディーゼル発電機(C)空気だめ(自動)出口弁付け根部に、空気の漏えいを確認した。当該弁を点検・修理。なお、空気の漏えい量は微量であり、空気だめ圧力の著しい低下が確認されないため、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/01/12	
16	7号機	非常用ディーゼル発電機(C)空気だめ(自動)1次ドレン弁付け根部に、空気の漏えいを確認した。当該弁を点検・修理。なお、空気の漏えい量は微量であり、空気だめ圧力の著しい低下が確認されないため、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/01/12	

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
17	7号機	海水熱交換器建屋(非管理区域)での火災防護設備インターロック試験において、点検区域外の消火設備を誤って起動させたことを確認した。調査の結果、試験エリアと連動している防火区画を除外しないまま試験を行っていたことが判明。当該事象の原因および再発防止対策を検討。なお、消火ポンペ補充までの間、代替消火設備として消火器を設置済。	2024/01/25	
18	その他	大湊側雑固体廃棄物焼却設備点検において、東側階段室前(屋外)のプラント内放送設備(拡声装置)のスピーカーが故障していることを確認した。当該スピーカーを交換。	2024/01/22	
19	その他	5号機緊急時対策所用可搬型電源設備(No. 3)の月例点検において、走行中に車両エンジンチェックランプが点灯したことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、予備車両により必要台数が確保されていることを確認済。	2024/01/18	
20	その他	大湊側雑固体廃棄物焼却設備点検において、トラック室前(屋外)のプラント内放送設備(拡声装置)のスピーカーが故障していることを確認した。当該スピーカーを交換。	2024/01/22	

## 不適合情報

2024年1月30日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器(A)(B)の出口導電率記録計が停止していることを確認した。調査の結果、記録計内部の一時的な接触不良と推定。当該記録計を点検・修理。	2024/01/01	
2	5号機	原子炉建屋No. 2サブドレン(地下水汲み上げポンプ)の排水ポンプ(A)運転時間積算計が動作していないことを確認した。当該時間積算計を交換。	2024/01/19	
3	7号機	原子炉建屋ブローアウトパネル閉止設備点検において、強制開放装置(No. 4②L)電動機の樹脂製ファンにひび割れを確認した。当該ファンおよび他のファン(7台)についても交換を実施。なお、ひび割れによる機能への影響は無し。	2024/01/16	

## 不適合情報

2024年1月31日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋(管理区域)南東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/25	
2	1号機	コントロール建屋地下1階(非管理区域)南西側コーナー部および二酸化炭素ポンベ室の床面に、水溜まり(合計約61リットル)を確認した。拭き取り実施済み。調査の結果、中央制御室給気処理装置の凝縮水が床排水口配管の詰まりにより逆流したものと推定。当該配管を点検・清掃。	2024/01/25	
3	5号機	非常用ディーゼル発電機(B)エリア空調ダクトの保温材が脱落していることを確認した。当該保温材を取り付け。	2024/01/20	

## 不適合情報

2024年2月1日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/01/26	
2	1号機	荒浜側洗濯設備の洗濯廃液放出流量計に、指針のズレを確認した。調査の結果、計器精度の逸脱または配管の詰まりが原因と推定。当該流量計を点検・校正。	2024/01/29	
3	2号機	原子炉建屋～タービン建屋間A系トレンチエキスパンションジョイント部(建物間をつなぐ部分の緩衝部)に小さな孔が開き、地下水が床排水口に流入していることを確認した。耐水テープを張り付け応急処置済み。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2024/01/24	
4	2号機	OFケーブル(電力ケーブル) 洞道に、水溜まりがあることを確認した。調査の結果、コンクリート目地部(底板)から地下水が滲み出していることを確認。当該箇所を点検・修理。	2024/01/29	
5	3号機	低電導度廃液系脱塩塔(A)樹脂廃棄用空気入口弁が全開しないことを確認した。調査の結果、弁駆動部の動作不良と推定。当該弁駆動部を点検・修理。	2024/01/25	
6	3号機	$\beta$ ・ $\gamma$ 線用警報付きポケット線量計の年次点検において、 $\beta$ 線照射時の指示値が判定基準を逸脱している線量計(1台)を確認した。当該線量計の使用を禁止。前回点検以降の使用実績を調査し、使用者の影響評価を実施。	2024/01/29	
7	5号機	大湊側焼却設備点検において、排ガススクーラ逃がし弁(1)(2)にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2024/01/29	
8	6号機	原子炉建屋2階(管理区域)主蒸気管トンネル室のブローアウトパネル上部で、古いタバコの吸い殻を発見した。当該タバコを回収済み。当該事象および管理区域へのタバコの持ち込み禁止を周知。	2024/01/26	

## 不適合情報

2024年2月2日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)西側通路の壁面に、雨水のしみ出しを確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/01/26	
2	2号機	タービン補機冷却系熱交換器(A)の渦流探傷検査において、減肉率の判定基準を超える伝熱管(28本)を確認した。当該伝熱管を閉止。なお、伝熱管の閉止本数は管理値(90本)以下であり、熱交換機能に影響なし。	2024/01/30	
3	5号機	大湊側補助ボイラー4A負荷試験において、低圧側(A・B・C)および高圧側(A・B・C)安全弁ドリップパン(安全弁出口と放出ラインを接続しドレンを受ける箇所)から蒸気が漏れ出たことを確認した。調査の結果、大気放出配管から蒸気が逆流したものと推定。当該事象の原因を調査し修理。	2024/01/22	
4	5号機	タービン建屋No.5サブドレン(地下水汲み上げポンプ)制御盤の基礎部が沈下していることを確認した。当該基礎部を修理。	2024/01/24	
5	5号機	原子炉建屋付属棟地下1階(管理区域)北側通路の非放射性ドレン移送系配管交換にともなう水抜きにおいて、排水配管[MSC-507]に詰まりを確認した。当該配管を点検・清掃。	2024/01/29	
6	5号機	原子炉建屋付属棟地下1階(管理区域)北側通路の非放射性ドレン移送系配管交換にともなう水抜きにおいて、排水配管[MSC-504、506]に詰まりを確認した。当該配管を点検・清掃。	2024/01/29	
7	6号機	復水脱塩装置(A)樹脂受入移送時に、圧縮空気安全弁の動作を確認した。調査の結果、結露水が安全弁シート面に影響し動作したものと推定。当該弁を点検・修理。	2024/01/26	
8	7号機	中央制御室排気筒放射線モニタデジタル表示部の固定用ツメが破損したことを確認した。当該表示部を交換。なお、指示値の表示・動作に問題はなく、監視に影響なし。	2024/01/22	
9	7号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩装置出口導電率計(A)に指示不良を確認した。当該導電率計および検出器を点検・修理。	2024/01/29	

## 不適合情報

2024年2月5日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	中央制御室において、1号高起動変圧器故障警報の発生を確認した。調査の結果、一次ブッシング(変圧器と開閉器の接続部分)の油圧カススイッチの故障と推定。当該圧カススイッチを交換。	2024/01/31	
2	7号機	緊急時対応訓練において、送水ホース展張車のクレーンアームに動作不良を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2024/01/31	

## 不適合情報

2024年2月6日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

- 1. G I グレード      0件
- 2. G II グレード     0件
- 3. G III グレード    2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	7号機	非常用ディーゼル発電機(A)清水加熱器ポンプメカシール部からシール水が滴下していることを確認した。当該ポンプを点検・修理。なお、清水加熱器ポンプの運転状態に異常はなく、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2024/01/27	
2	その他	屋外用ダストモニタ(No. 1)点検後のβ濃度・α濃度測定値が、点検前の約10倍に増加していることを確認した。放射能観測車により代替測定を実施。当該事象の原因を調査。	2024/01/30	

## 不適合情報

2024年2月7日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	4号機	放射性廃棄物処理設備の点検において、原子炉建屋付属棟低電導度廃液系排水槽冷却器出口弁にシートバスを確認した。当該出口弁を点検・修理。	2024/01/23	
2	4号機	原子炉建屋(管理区域)南東側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/02/03	
3	6号機	サービス建屋(非管理区域)北西側階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/02/03	
4	その他	モニタリングポスト用発電機-1エリアの熱感知カメラの火災警報が、正門警備所の監視画面に表示されないことを確認した。現場を確認し、炎や煙のないことを確認済み。当該感知カメラを交換。なお、炎感知器は正常であり、正門警備所での火災警報監視に影響なし。	2024/02/02	

## 核物質防護に関する不適合情報

2024年1月16日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 11件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該カメラを交換し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用のカメラであったことから、代替措置は不要と判断した。	2023/1/3	
2	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該検知器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/1/28	
3	核物質防護上の扉の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/2/7	
4	核物質防護上の扉に錆を確認したことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお障壁機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2023/6/18	
5	監視用の照明の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該照明を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/7/14	
6	監視用の照明の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、メーカーが誤った制御基板を組み込んでいたものであったことから、当該照明を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2023/7/24	
7		2023/8/14	
8		2023/8/22	
9		2023/8/22	
10	核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2023/7/29	

NO.	不適合事象	発見日	備 考
11	<p>協力企業より、車両を構外へ移動しようとしたところ、車両通行証がないとの連絡があった。調査の結果、不要となる当該車両の使用者であった協力企業作業員が車両の鍵を返却した際に、本来は構外に車両を移動した後に返却する車両通行証も誤って返却していたことを確認した。対策として、関係者に車両通行証の取り扱いルールに関する再徹底の指導を行った。なお、セキュリティ部門立ち合いの元、協力企業により当該車両は構外に搬出されたが、搬出するまでの間、当該車両の出入りはなかった。</p>	2023/11/13	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

## 核物質防護に関する不適合情報

2024年1月23日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該検知器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/12/18	
2	侵入検知器の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/12/21	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。  
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

## 核物質防護に関する不適合情報

2024年1月30日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 6件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所の手入れを行い、正常な状態に復旧した。	2022/1/21	
2	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該検知器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/12/12	
3	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該カメラを交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2023/12/22	
4	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/12/31	
5		2024/1/10	
6	核物質防護上の扉の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の付属機器の機能は、代替措置にて維持した。	2024/1/9	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。  
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

## 核物質防護に関する不適合情報

2024年2月6日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 9件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該カメラを交換し、正常な状態に復旧した。	2023/2/21	
2	監視カメラが正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該カメラを交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2023/2/26	
3	核物質防護上の扉が、施錠できないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2022/3/14	
4	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/10/7	
5		2024/1/22	
6	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/11/2	
7	核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉の出入りを一部制限した。	2023/12/29	
8	協力企業より、入構証を紛失したとの連絡があったことから、当該入構証の無効化措置をした。 また、当該入構証を申請した企業に指導を行うとともに、所内に保管管理徹底の注意喚起を行った。 なお、当該入構証の不正使用は確認されていない。	2024/1/9	
9	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2024/1/17	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。  
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2024年2月)

2024年2月8日

## ① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定検による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

## ② 発電所設備利用率(%) (1月末現在)

1月	0.0%
2023年度累計	0.0%
運転開始後累計	39.1%

## ③ 発電所発電電力量(万kWh) (1月末現在)

1月	0
2023年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

## ④ ドラム缶発生量(本) (1月末現在)

当月発生本数	170
貯蔵庫累積貯蔵本数	29,510
貯蔵庫保管容量	45,000

## ⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2023年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

## ⑥ 従業員登録データ(人) (2月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	799	2,299	54%
	刈羽村	69	214	5%
	その他	151	1,040	21%
	小計	1,019	3,553	79%
県外		122	1,092	21%
合計		1,141	4,645	-
		5,786※2		100%
協力企業社数(社)		694		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。  
 ※2 参考: 2月5日の構内入構者数4,557人

## ⑦ 来客情報(人) (1月末現在)

	1月	年度累計
地元	546	9,440
県内	161	4,582
県外	289	5,824
国外	3	158
合計	999	20,004

## ⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
2月22日	定例所長会見(予定)
3月2日、3日	映画鑑賞会(柏崎市産業文化会館1階文化ホール)
3月14日	定例記者説明会(予定)

インターネットホームページアドレス  
[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/kk-np/index-j.html](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html)

東京電力ホールディングス株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)